



「プライスレス」という木村拓哉のテレビドラマを観ました。前後の流れはわからないけれど、自分の満足することをやろうとする気持ちに共鳴しました。打算ばかりの世の中で、信念を感じられることが少ないように思います。このドラマの視聴率は上がってきているとのことですが、その副題が「あるわけねえだろ、んなもん！」ですから、人受けを狙わないテーマが受けるかどうか、賭けてみたものでしょう。

我がクリニックもどうか診療理念が理解されてきたと思います。今回は、それを説明させていただくことにしました。病児保育を始めようとしています、やはり理念が大事です。子供達がノアに来た時、暗くて寂しいところであれば、病気になるた罰のように思ってしまうでしょう。人生の不幸は天気の変動のようなもので、それを受け入れて明日のために自らを整えれば、「災い転じて益となりませぬ」。また、優しく子供達をケアするスタッフが何よりも大事なものとなります。看護師や保育士をご紹介ください。

現代の医療は唯物論や還元論に基づいています。人間を分子レベルまで分析すれば、治療が進むというものですが、全体を診ることはできません。人間の尊厳は、分子の総体ではなく、特に精神については、人格的に捉えないので治療が進まないと考えています。

私にとって妻の病気や試練が、自分の人格を形成しました。妻子を守るために、耐え難きを耐え、苦しみの中に喜びを見出そうとし、子供には涙を見せまいと決心し、人の理解を求めるよりも、解決の為に奮闘し、負けるわけにはいかない生活でした。良家の子女で鼻っ柱が強く、言い訳が多い妻もすっかり変わりました。病や苦勞が私たちを形成したのです。駆け落ちのような結婚でしたから（内緒！）、誰にも頼るわけにはいきませんでした。しかし、今は苦勞が財産になっていきます。病は決して災いではありません。

事務長 柏崎久雄

**感染症の疑いのある方は廊下の入口から**  
インフルエンザ、風邪、おたふくかぜ、はしか等が疑われる方は、正面入り口横の中央通路わきにあるインターホンでご連絡ください。院内感染を避けるためご協力ください。第2待合室も病態別に隔離して診察します。

**インフルエンザ予防接種、午前の受付は9時まで**  
午後は通常。65歳以上は12月まで市の補助あり。当院はチメロサールの入っていないワクチンを使用。料金は1回3200円です。詳細はチラシ案内を。  
**成人用肺炎球菌予防接種が3月末まで市から助成金がでます。**（予約制で75歳以上の方）

十一月より、三種混合に不活化ポリオが加わった四種混合の予防接種が開始されました。予約制ではありませんが、三種混合とポリオワクチン（生・不活化）を未接種の方に限ります。詳細は受付にご相談を。

**「聖書を読む会」** 12月11日（火）2時～2時20分  
**「回復の会」** 同11日11時～16時

（株）ヨーゼフでは、12月3日～12月28日キャンペーン販売（A・10000R、ベーシックパック）です。

2階点滴室前のトイレ、2階感染症待合室の補修、3階病児保育室の工事が12月10日まであります。

年末年始休業は12月29日（土）午後～1月4日（金）年始は1月5日（土）より診察します。

病児保育ノアのホームページを作りました。

<http://hoiku-noa.com/>

## <病をどのように考えるか> マリヤ・クリニック方針

病気というものをどのように捉えるかによって治療方針や方法が異なってきます。マリヤ・クリニックはキリスト教理念を持った医療機関として、他の医療機関とは明らかに異なる考え方を持っています。それをご理解いただきたく、まとめてみました。極端な説明ですが、実際にはその視点を、患者さんに配慮しながら適用しているのです。

### I. 病気に対する対応の前提

#### 1. 人間をどのように捉えるか。

- A. 進化論の考え方に立った、単なる動物の一つ。
- B. 創造論に立った、他の動物とは異なる、人格的な存在。

日本では進化論者が殆どですが、世界的には科学者を含めて創造論者の方が多いように思われます。進化論に立つと、生命の意味は子孫の繁栄であり、適者生存として、弱者は淘汰されても構わないというナチスの考え方に立ち、障害者・病者・劣等者に特別なケアは必要ないという極論にもなりかねません。医療の基本的取組み方が違ってくるのです。

また個人の能力に重きが置かれ、生産性や社会への貢献度によって、各人の価値が違うということになります。教育も優秀な人材を造り出すことを目標とし、指導者養成と労働者の服従教育が必要となり、個性というものは、ないがしろにされます。

#### 2. ターミナルケアの捉え方。

- A. 人間を単なる動物と捉えると、長生きをさせることが目標となる。
- B. 人間を人格的な存在として捉えると、本人の希望に沿った末期を迎えようとする。

ホスピスは、人生の末期を意味あるものにしようとする宗教的な施設であり、単に長命を図るものではなく、心身の苦痛を緩和することを目的とすることも、人生の意味合いと死に対する理念が確立していなければ、難しいものとなります。

#### 3. 身体をどのように捉えるか。

- A. 進化論的立場では、人間は単に細胞の集合体であり、部品を入れ替えるのも可能となる。
- B. 人間を全体としての尊厳を持った存在と診れば、部分の修復に限度を感じる。

薬の多さは、その効能を考えるからでしょうが、薬効も重なれば害ともなり、自然治癒力を損なうこともあります。検査や手術も身体の全体性を考慮するべきであり、移植などよりも、器官の回復を重要視するべきと考えます。

#### 4. 精神をどのように捉えるか。

- A. 進化の結果とすれば、人間の精神は神経の働きの過ぎない。
- B. 霊的・人格的存在とみれば、薬剤の投与によって精神疾患の治療が進むとはしない。

知識・感情・意志を動物としての器官的な働きの結果とみれば、精神疾患の治療には向精神薬が有効となり得るでしょうが、私たちは人間を、神が造られた霊的な存在と捉え、その精神症状の回復には、向精神薬は全く不適切であると考えています。

#### 5. 病気をどのように捉えるか。

- A. 身体の故障とみれば、厄介なもの災いとみなすことになり、病者は厄介者となる。
- B. 人格的存在とみれば、病気や試練も人格形成に必要なものとなる。

人間が単なる動物であり、還元論的に分子の総体であるとするならば、病気は故障であり、厄介なものとなりますが、人格的な存在であれば、病気も人格的・社会的成長の為の一つのプロセスと捉えることができます。障害者も劣等な存在ではなく、全く同等かつ正常な存在であり、社会的に正常な生活を送る権利を持っており、また社会もその配慮をしてこそ、正常な営みができると考えます。

## 6. 治療方法をどのように選択するか。

A. 人間を単なる物質的存在とみれば、働きを存続させるどんな修繕方法も許容される。

B. 人間の尊厳を意識すれば採用できない治療もあり、また治療を単純化できない。

昔は精神科でロボトミーのような脳の一部を切除する手術が行われ、現代でも精神科や介護施設の一部では患者に対して人間的に異常と思われる対応をしているところがあります。受精卵を選んだり、クローン人間を作ろうとすることなど、人間にとって都合が良いような操作をすると却って、人間社会の秩序が損なわれるというのが私たちの立場です。

## 7. 患者と医師の立場はどのようなものか。

A. 患者が物質であるならば、処置や処方医師が一方的にすることもあり得ます。

B. 患者が人格的存在であれば、病の情報と治療手段を共有して治療に取り組むべきです。

最善な医療であろうと、患者に対して情報を提供した上でそれを選択することができるべきであり、特に侵襲的医療ががん患者に対して十分な説明なく勧められているのが現状です。

## II. マリヤ・クリニックの立場

### 1. 対症療法ではない。

現代医療は対症療法が基本で、症状が現れたら、その症状を抑えようとします。当院は、その症状の原因を突き止めようとします。

#### ① アトピー性皮膚炎

腸粘膜の損傷に原因があることを確認し、血中にアレルギー素因が流出しないように治療します。

#### ② 胃腸炎

慢性の場合には、ヘリコバクターピロリ菌の有無・胃液の分泌量・消化酵素・貧血の有無、腸内環境・便秘の有無と原因・栄養状態、などを調べます。

#### ③ 頭痛・偏頭痛・肩の凝り・慢性疲労・神経症状など

栄養状態、食習慣、ホルモンの分泌、貧血、などを確認します。

#### ④ ADHD、チック、自閉症、精神神経症状など

身体に悪影響を与えている原因（ホルモン、有害ミネラル、食物アレルギー、血糖値、その他）を追求します。

### 2. 薬剤の効果と共に、栄養の補給による自然治癒力を並行して用います。

基本的には、他の医療機関と同じように薬剤や抗生物質を用いますが、身体に負担がありそうであったり、症状の改善に必要な場合には、患者さんに情報を提供した上で、栄養補給の治療を採用します。自然治癒力を損なう治療は、長期的には様態を悪くします。

### 3. 精神・神経症状を向精神薬を用いずに直したいと考えています。

災害、試練、不幸によって精神状態が悪くなるのは人間としては自然なことであり、休息と時間が必要です。過労や栄養不足による体調不良によって精神に悪影響ももたらすこともあります。生活や環境、コミュニケーション能力の不足によって、どのように人や組織と対処すべきかわからずに、不安を持ち、問題を起こしてしまうこともあります。

私たちは人間を神が造られた霊的・人格的な存在であると確認し、その自覚が損なわれた時に人格的精神的な問題が起こりうると考えています。

また、身体が精神に影響をもたらすこともあり、治療としては身体的要因を改善しながら、人格的な尊厳を取り戻すことが大事であると考えています。神経についても、神経に悪影響を与える要素を取り除き、安定させるものを提供するべきだと考えています。

私どもは、機能的低血糖症だけでなく、内科疾患から起こる精神症状を直してきました。

#### 4. 病名について疑問を感じる場合があります。

保険診療をするには病名が必要ですが、一度付けられた病名は、その人の状態を定義付け、閉じ込めてしまう場合が多いようです。特に精神症状の患者に付けられる病名に危惧を覚えています。子供たちにも ADHD（注意欠陥多動性障害）やアスペルガー症候群などの病名が付けられることがあります。治療の為ではなく、その子に対する責任回避のために付けられていることはないでしょうか。私どものクリニックでは、自閉症、アスペルガー症候群、ADHD、その他の病名が付けられた患者さんを正常な活動ができるように直してきました。

#### 5. 病気というのは、邪魔なものなのでしょうか。

確かに生産性という面では病気は邪魔ですが、病気や困難によってこそ獲得できることのほうが多いと思っています。子育てなども、親にとっては時間が掛かり、面倒なところもありますが、それこそが親を親として形成させるのです。効率的な生活を追求することの方が危険性は高いと思います。医師任せでは、病気で学ぶことは少ないでしょう。死につながる病気さえ、その人が病気と向かい合い、人生を価値あるものにすることはできるのです。

#### 6. 病気は自分の弱点や恥部を指摘します。

人には全て弱さがあり、隠したいものがあります。病気は自分の弱さをさらけ出すことができますが、そうしてこそ人と真に愛し合い、受け容れあうことができるのです。人を助けるのはできますが、人の助けを求めることは難しいものです。努力だけで対処できないのが、病気ですから、人の助けを求めて幸せな人間関係を築き上げてください。

#### 7. 義人はいない、正しい人はいない、というのが聖書の教えです。

能力があり、立派で人に迷惑を掛けない指導者になりたいと思ったら、鼻持ちにならない厭な人になるだけでしょう。病気にもなり、ミスも犯す、人間はそういうものだからこそ、助け合わなければ生きていけないのです。欧米社会は、人間はミスを犯すものだという前提で、社会や組織が営まれています。ミスを許さない患者さんが執拗に責めてくることもあります。最善を尽くしながら、患者さんと交流し、より良い医療を心がけていきたいと願っております。

### Ⅲ. 社会が作り出す病気に気が付かなければなりません。

環境汚染や放射能汚染、そして生産性の追求や道徳の退廃は、個人では対処できない多くの病気をもたらしています。親は、精一杯それに対処して、子供達と自分を守らなければなりません。現代社会において、一人ひとりが真剣に国家と社会に責任を負うことが必要だと思います。

子供たちや子孫を守るために、強くあってください。

マリヤ・クリニックは、あるべき医療を目指して研究と啓発を心がけ、患者さんと接していきたいと考えております。皆さんのご意見もお聞かせください。

#### 《 診 療 時 間 》

月曜～金曜（午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時 30 分～5 時 30 分）

土曜（午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時～4 時）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・介護保険取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・生活保護指定機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・自立支援医療機関
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)